

⚠ 警 告

＜アルカリ電池について＞

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注 意

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

⚠ 注 意

＜電池について＞

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- (1) ⊕ ⊖ を正しく入れてください。
 - (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはすしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておく、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
 - (3) この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
 - (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
 - (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
 - (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
 - (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

- この時計の修理用部品は、7年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。
修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

- ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

SEIKO

置時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM000、PW000、KG000など)

フリーダイヤル
お客様センター ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

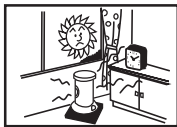
Printed in Japan ㊞

説明書番号 ABY-018P

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。



暑い場所 (+50℃以上)



寒い場所 (−10℃以下)



振動の激しい場所



湿気の多い場所

- 温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が−10℃（氷点下10度）以下になる所。
〔プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。〕
- 塵、埃の多い所。
〔空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。〕
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
〔磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。〕
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。
〔霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。〕

- ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

故障かな？と思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池接片の導通不良。 ・静電気などによりマイコンが誤作動している。 ・強制受信中または時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・接片の表面を拭いてください。 また、電池を入れて2〜3回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。 ・「電波クロックについて」をお読みになり、再度受信させてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「電波クロックについて」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
回転飾りが動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池接片の導通不良。 ・時計がかたむいている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・接片の表面を拭いてください。 また、電池を入れて2〜3回まわしてください。 ・時計を水平な場所に置いてください。

電波クロックについて

●電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

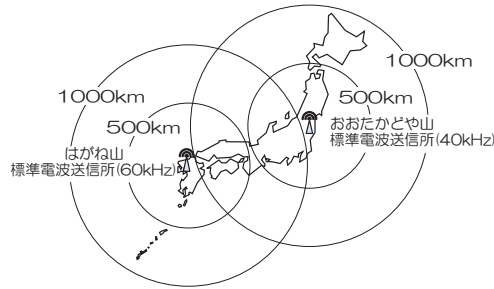
通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信について

各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね1000km～1200kmです。

個別の状況により異なりますが、東日本地域は40kHz（福島送信所）、西日本地域は60kHz（九州送信所：福岡・佐賀の県境）の電波がより受信しやすいものと想定されます。この製品は40kHz、60kHzのいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。

ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所(CRL)のホームページをご覧ください。

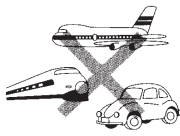
●使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。

また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。

その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- a) ビルの中、ビルの谷間、地下。
- b) 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- c) テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- d) 工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- e) 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- f) スチール机等の金属製の家具の上や近く。



製品仕様

- 精度：平均月差±20秒（電波受信による時刻修正を行わない場合）（気温5℃から35℃で使用した場合）
- 表示精度：±1秒（時分針は±3度）（電波受信による時刻修正を行なった直後）
- 使用温度範囲：-10℃～+50℃
- 使用電池：単3マンガン乾電池 2個（JIS規格R6P）
単3アルカリ乾電池 2個（JIS規格LR6）
- 電池寿命：約1年
- 電波受信機能：自動受信（1日8回）
（受信から次の受信まではクォーツの精度で動いています。）
手動受信（強制受信）
※40kHz、60kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
- 受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をLEDライトで表示
- 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット

*上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

■ご使用方法

1. 電池を入れる

（単3マンガン乾電池 2個 単3アルカリ乾電池 2個）

- ① 裏面のふたを開けて電池を入れてください。
⊕⊖ および電池の種類をまちがえないように注意してください。

- ② リセットボタンを押してください。（ボールペンの先などで押してください。）
※リセットボタンの位置は「■操作部」を参照してください
秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、受信を開始します。
（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）
注）電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。

- ③ 時計を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に置いてください。

- 受信中はLEDライトが信号に応じて点灯します。
点滅中：受信状態の良好な周波数を選択しています。
点灯中：選択した周波数で時刻情報を受信しています。

※受信開始後最初の約2秒間は必ず赤色のLEDライトが点灯します。
受信中は、LEDライトの色によって【表：1】のように受信状態を表示します。（2分～21分）

【表：1】

LEDライトの状態	受信状態
緑色が連続点灯	電波状態が良く受信可能
緑色が連続点灯し、たまに赤色点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
赤色と緑色が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
赤色が連続点灯し、たまに緑色点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
赤色が連続点灯	電波状態が悪く受信不可能

- 受信に成功した場合
受信が成功するとLEDライトが消灯し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。

- 受信できなかった場合
LEDライトが消灯します。
このとき時分針の時刻修正は行いません。下記「2. 時刻の合わせかた」の方法にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

2. 時刻の合わせかた

- 2.1 電波を強制的に受信して時刻を合わせる
受信モニターボタンを約2秒以上押し続けると受信を開始します。
受信に要する時間は、2分～21分です。

- 受信中は、LEDライトが信号に応じて点灯します。
【表：1】参照

※受信中は運針が停止します。

- 受信ができない場合は、場所を変えてもう一度受信させてください。
詳しくは「電波クロックについて」をお読みください。
また、1日の内で夜間のほうが昼間に比べて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。

※受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。

- 2.2 手動で時刻を合わせる
標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。
① モードボタンを2秒以上押すと、秒針が「12時の位置」で停止します。
② 受信モニターボタンを一回押すと、分針を1分づつ送り、押し続けるとボタンを離すまで、送り続けます。
③ モードボタンを押すと同時に、針が動き出します。

3. 自動受信

- ① 毎日8回、自動で受信を行ないます。
（自動受信時、LEDライトは点灯しません。）
- ② 受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
※受信中（2～21分間）は針が不規則な動きをすることがあります。
 - 秒針：12時の位置で停止
 - 分針：約30秒毎に運針

4. 受信結果を見る

通常運針中に受信モニターボタンを1回押す（2秒以下）と前回の受信結果を表示します。

- 24時間以内に受信できた場合は“緑”が点滅します。
- 24時間以内に1度も受信できなかった場合は“赤”が点滅します。

5. 電波受信を止める

この時計には下記手順により、電波受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください）

- ① モードボタンと受信モニターボタンを同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。
- ② LEDライトの“赤”“緑”が5回同時に点滅したらモードボタンと受信モニターボタンを放してください。
- ③ 「2.2 手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
 - この機能を設定した後も受信モニターボタンを2秒以上押すと強制受信を開始しますが、その後自動的に受信はしません。
 - この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

■ご注意

- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。

●回転飾りの動かしかた

電池をセットすると、自動的に回転飾りが動き始めます。
水平でない場所や、ゆれやすい台の上などに時計を置くと、回転飾りが動かない場合があります。

■操作部（時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。）

